

北社会ニュース 第34号

2007年7月17日

発行者：鈴木壮夫

本日、第253回北社会は西澤潤一同窓会会長様より開設以来の危機を体験しつつある、我々が仙台二高同窓会の今後の進路についてご講演をお願い致しました。テーマは

「男女共学化になった母校に期待すること及び同窓会活動について」です。

北社会会員の多くが共学後の母校の雰囲気及び同窓会活動に強い関心を抱いております。副会長の麻喜宏雄様（高9回）に本件を電話でお伝えしたところ、即座にそれなら西澤会長様の“自然流で且つ会長ご自身のナマの声が一番ふさわしい。スズキ君、ご多忙を承知でお問い合わせしてみろ！”とハッパをかけられ今年も会長様のご了承を賜り、世話人一同感謝しております。本当にありがたいことです。

本日のご講演のテーマについては先月届いた同窓会報に会長様が「巻頭言」に寄稿なさっております。本日ご出席の皆さん、会長様のご講話を拝聴し、母校のため、同窓会のため、お一人お一人が強い関心を抱かれるようお願い致します。

先月の北社会の講師、齋藤武雄氏（高13回）のご講演は痛快かつ愉快でした。東北大学の“実学”の伝統はあらためて素晴らしいと思えました。西澤会長様に関連し、私は次のように記憶しております。トヨタに約7万人の社員がいる、大雑把に千人に一人の割合でエリートがいるとするとトヨタには70人いることになるが西澤様ほどの人材はいない。一方、二高の先輩後輩の“絆”も大事。一人の人間を助けてあげられる可能性があるんだったら死ぬつもりで努力する。西澤様のロマンに共感を覚える後輩も多いと。

上記の麻喜宏雄副会長からの推薦図書：

「闘う独創の雄 西澤潤一」 オーム社出版局 1700円＋税

著者は渋谷寿氏（麻喜氏と同期の高9回生。東北大工学部－朝日新聞社）



旧制高校生のころ

8年前、1999年の発行です。著者が巻頭に「西澤潤一のように、たとえ評判が悪くならうとも、世にいわれる常識とか社会通念に妥協しないで、自分の志した道を徹底して歩み、多くの独創研究を成し得たということは貴重である。筆者が心魅かれたのも、この一貫した姿勢に感服したからであった。21世紀を迎えるにあたって、独創技術の必要性がさげられるなかで、日本にも独創技術を買った西澤潤一のような人物がいるということは、若い人びとに、大きな自信と刺激を与えてくれるものと思う。」と記しております。

そば屋経営、日々の生活、人生のあり方等々私は大いに心の支えと刺激をいただきました。写真は同著の中からの無断転載です。凛々しくて羨ましいです。

《 西澤会長のおかげで、妻から存在価値を認められた一年に一回の小咄 》

Super Science High School (SSH) とは文部科学省が科学技術・理科・数学教育を重点的に行なう高校を指定しー全国に約100校ー5年間にわたり6000万円の補助金を渡す制度。昨年、妻の母校川越女子校が選ばれ、そのことを同窓会報に載せるべく他の編集委員さんと母校を訪問、教頭先生にお会いした時の話です。一流の科学者、学者が話題になり西澤会長のお名前が最初に教頭先生から発せられた。妻は西澤会長にお会いした時お聞きした男女共学のこと、科学教育のこと、そしてNHK・日曜美術館「モネ」等々会話の中心になり、楽しかったと報告あり「ソープも二高を卒業したというそれだけのことで“役”にたつ時もあるのね！」と云われた。

(1) 来月以降の北社会

8月20日(月) 講師：ズラゲレルさん 東京国際大学・国際関係学部の三年生

演題：仮題 「モンゴルの子供たちのために」

川越市の国際都市化支援プロジェクトが最近発行した小冊子から転載。



Ms. Zulgerel is from Mongolia, studying about international politics and NGOs at TIU. "I am interested in environmental and waste problems. I went to see the former Ashio copper mine, the dams and waste treatment center there. I had an image of Japan as a clean country, but I was so surprised to learn that there is pollution in Japan. I have to study how to prevent such a thing from happening in Mongolia."

As for her impression of Kawagoe, she said "I have a part-time job at a noodle restaurant in a building built about 80 years ago. The classical architecture lining the streets of Kawagoe is so great! I had thought that I couldn't see old Japanese buildings except in Kyoto."

Further, she showed me many pictures drawn by children. "I have been doing volunteer work at an orphanage in Mongolia when I was a high school student. I continue to volunteer there every year. I am always thinking that I should do something for children and for Mongolia in the future. I want to make good use of what I am learning in Japan. Also, I want to act as a bridge between Japan and Mongolia." She told me in fluent Japanese.

9月21日(金) 講師：石井彦寿氏(高12回) 東北大学法科学院教授

演題：「正義の女神の目隠し」

→会場が豊島区の“生活産業プラザ・多目的ホール”です。ご注意ください←

(2) 絵画展のお知らせ

佐藤博實氏(高19回)は埼玉県・越生在住の画家です。今年も「草木の肖像展」を開催すると連絡あり。7月23日(月)ー28日(土) 11時ー19時(最終日は17時)

場所は“銀座東和ギャラリー” 中央区銀座3-10-7 ☎03-3542-8662

<http://www.ginzatowagallery.com>